

高等学校 芸術（書道）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、大問 **2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、大問 **4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
- 記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、大問 **2** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は **1**」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 **1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

(1) 次の は、書道Ⅰ「Ⅰ 目標」からの抜粋である。空欄（①）～（⑤）に入る、

適切な語句の組合せをⅠ～5から一つ選べ。解答番号は

第2款 各科目 第10 書道Ⅰ

Ⅰ 目標

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の（①）に基づき、効果的に表現するための（②）な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて（③）し表現を工夫したり、作品や書の（①）と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の（④）に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、（⑤）を高め、書の（①）と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- | | | | | | |
|---|------|-------|------|---------|-------|
| Ⅰ | ① 伝統 | ② 一般的 | ③ 構想 | ④ 幅広い表現 | ⑤ 思考力 |
| 2 | ① 特性 | ② 基礎的 | ③ 構想 | ④ 多様な活動 | ⑤ 思考力 |
| 3 | ① 伝統 | ② 一般的 | ③ 考案 | ④ 幅広い活動 | ⑤ 思考力 |
| 4 | ① 伝統 | ② 基礎的 | ③ 構想 | ④ 幅広い活動 | ⑤ 感性 |
| 5 | ① 特性 | ② 基礎的 | ③ 考案 | ④ 多様な活動 | ⑤ 感性 |

(2) 次の□内の①～⑦を、書道Ⅰ「2 内容 A 表現 (1) 漢字仮名交じりの書」の指導事項のうち、ア(思考力、判断力、表現力等)、イ(知識)、ウ(技能)に関する資質・能力に分類したとき、正しい組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は□2

- ① 目的や用途に即した効果的な表現
- ② 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり
- ③ 名筆を生かした表現や現代に生きる表現
- ④ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり
- ⑤ 漢字と仮名の調和した線質による表現
- ⑥ 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成
- ⑦ 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現

1	ア	③⑥⑦	イ	②④	ウ	①⑤
2	ア	①②⑥	イ	③④	ウ	⑤⑦
3	ア	②④⑦	イ	①⑥	ウ	③⑤
4	ア	③④⑤	イ	①②	ウ	⑥⑦
5	ア	②⑤⑥	イ	③⑦	ウ	①④

(3) 次の□は、書道Ⅰ「3 内容の取扱い」からの抜粋である。空欄(①)～(⑤)に入る、適切な語句の組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は□3

第2款 各科目 第10 書道Ⅰ

3 内容の取扱い

- (3) 内容の「A表現」の(1)については漢字は楷書及び行書、仮名は(①)、(2)については(②)、(3)については平仮名、片仮名及び変体仮名を扱うものとし、また、(2)については、生徒の(③)を考慮し、草書、(④)を加えることもできる。
- (7) 内容の「A表現」の指導に当たっては、中学校国語科の書写との関連を十分に考慮するとともに、高等学校国語科との関連を図り、学習の成果を生活に生かす視点から、目的や用途に応じて、(⑤)も取り上げるよう配慮するものとする。

1	① 平仮名及び片仮名	② 楷書	③ 実態等
	④ 隷書及び篆書	⑤ 実用的な書	
2	① 平仮名及び変体仮名	② 楷書及び隷書	③ 個性等
	④ 行書及び篆書	⑤ 実用的な書	
3	① 平仮名及び変体仮名	② 楷書	③ 特性等
	④ 隷書及び篆書	⑤ 実用的な書	
4	① 平仮名及び片仮名	② 楷書及び隷書	③ 実態等
	④ 行書及び篆書	⑤ 硬筆	
5	① 平仮名及び片仮名	② 楷書及び行書	③ 特性等
	④ 隷書及び篆書	⑤ 硬筆	

次の図版A～Gについて、(1)～(4)の問いに答えよ。

図版A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅰ

高木聖雨ほか12名 光村図書
50ページ 蜀素帖

図版B

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

澤田雅弘ほか11名 教育図書
8ページ 自叙帖

図版C

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

關正人ほか14名 教育図書
35ページ 王維終南山

図版D

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

高木聖雨ほか12名 光村図書
8ページ 十七帖

図版E

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…中国法書選9

(発行者) 渡邊隆男 二玄社
8ページ 張遷碑

図版F

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅰ

高木聖雨ほか12名 光村図書
29ページ 鄭義下碑

図版G

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

高木聖雨ほか12名 光村図書
46ページ 本阿弥切古今和歌集

- (1) 図版A～Fを古い時代から並べた時の組合せが正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は 4

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | F ↓ D ↓ E ↓ B ↓ C ↓ A |
| 2 | E ↓ F ↓ B ↓ D ↓ A ↓ C |
| 3 | E ↓ D ↓ F ↓ B ↓ A ↓ C |
| 4 | F ↓ E ↓ D ↓ B ↓ A ↓ C |
| 5 | E ↓ F ↓ B ↓ D ↓ C ↓ A |

- (2) 図版Aの筆者に関する説明として誤っているものを1～5から一つ選べ。解答番号は 5

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 書に加えて画も能くし、書画学博士に任ぜられた。 |
| 2 | 字は元章。号は鹿門居士・襄陽漫士などの号がある。 |
| 3 | 著論に『書史』、『海岳名言』がある。 |
| 4 | 主な書として「虹峯詩卷」や「楽兄帖」などがある。 |
| 5 | 蔡襄・蘇軾・王鐸とともに元の四大家といわれる。 |

- (3) 図版Aの筆者の作品として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は 6

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-------|---|--------|---|-----|---|------|
| 1 | 赤壁賦 | 2 | 松風閣詩卷 | 3 | 黃州寒食詩卷 | 4 | 元日帖 | 5 | 玄秘塔碑 |
|---|-----|---|-------|---|--------|---|-----|---|------|

- (4) 図版Bと同じ時代に書かれた作品として、適切な組合せを1～5から一つ選べ。

解答番号は 7

- | | | | | | |
|---|-----|---|--------|---|--------|
| 1 | 書譜 | ・ | 祭姪文稿 | ・ | 温泉銘 |
| 2 | 中秋帖 | ・ | 祭姪文稿 | ・ | 温泉銘 |
| 3 | 中秋帖 | ・ | 薦季直表 | ・ | 蘇孝慈墓誌銘 |
| 4 | 書譜 | ・ | 蘇孝慈墓誌銘 | ・ | 祭姪文稿 |
| 5 | 中秋帖 | ・ | 薦季直表 | ・ | 温泉銘 |

(5) 図版Bの筆者や作品に関する説明として正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 8

- ① 字は蔵真。晩年になって仏門に入り、書を学んだ。
- ② 章草を得意とし、「出師表」などを残した。
- ③ 張旭のあとをうけ、狂草をよくした。
- ④ 著名な書として、「聖母帖」、「草書千字文」などがある。
- ⑤ 良寛は図版Bの作品を好んで学習したと言われている。

1 ①④ 2 ③④⑤ 3 ②④ 4 ②③⑤ 5 ①③⑤

(6) 図版Cの筆者名を1～5から一つ選べ。解答番号は 9

1 張瑞図 2 傅山 3 祝允明 4 文徵明 5 趙孟頫

(7) 図版Cの筆者と同じ時代に活躍した書家として適切なものを1～5から一つ選べ。
解答番号は 10

1 董其昌 2 欧陽詢 3 蘇軾 4 金農 5 趙之謙

(8) 図版Dの筆者の作品を1～5から一つ選べ。解答番号は 11

1 平復帖 2 久隔帖 3 孔侍中帖 4 地黄湯帖 5 離洛帖

(9) 図版Eの作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は 12

1 礼器碑 2 張遷碑 3 乙瑛碑 4 張猛龍碑 5 石門頌

(10) 図版Fに関する説明として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 13

- 1 陝西省の石門の溪谷道中に刻されていた。
- 2 甘肅省の魚竅峽に現存する磨崖である。
- 3 陝西省の石門西壁に刻された磨崖である。
- 4 山東省の雲峯山の巨岩の一面に刻された磨崖である。
- 5 河南省の古陽洞内の天井に近いところに刻されている。

(11) 図版Fと同じ時代の書や時代背景に関する説明として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は 14

- 1 天下統一に伴う文字の統一がおこなわれ、度量衡を統一するために作られた権や量の銘文などがある。
- 2 青銅器や石碑などの銘文を学び追究した碑学派や、古来の模本や法帖などを基礎に書を学んだ帖学派が出現した。
- 3 仏教を積極的に取り入れて、碑や造像記、墓誌銘など多くの石刻を残した。
- 4 木簡・竹簡・帛に文字が書かれていたが、製紙法の発明があり、紙に文字が記されるようになった。
- 5 甲骨に刻したり青銅器に鑄込まれていた文字は、石や玉などに彫り込まれたり、布や竹に書かれるものが増えた。また、諸子百家といわれる多くの思想家が出て活躍した。

(12) 図版Gの伝承筆者名を1～5から一つ選べ。解答番号は 15

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|-------|
| 1 | 伝 藤原公任 | 2 | 伝 藤原行成 | 3 | 伝 藤原俊成 | 4 | 伝 源俊頼 |
| 5 | 伝 小野道風 | | | | | | |

(13) 図版Gの作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は 16

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1 関戸本古今和歌集 | 2 高野切古今和歌集 | 3 曼殊院本古今和歌集 |
| 4 元永本古今和歌集 | 5 本阿弥切古今和歌集 | |

(14) 図版Gの伝承筆者が書いた作品名として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 17

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1 詩懷紙 | 2 白氏詩卷 | 3 光定戒牒 | 4 屏風土代 |
| 5 伊都内親王願文 | | | |

3 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次の①～③に示す文字を草書で書け。

- ① 天 ② 遣 ③ 真

(2) 次の①～③のひらがなの字源を楷書で書け。

- ① ら ② こ ③ む

(3) 次の図版の全文を、小学校国語科書写で表記する平仮名で書け。併せて、変体仮名についてはその平仮名の下に()をつけて字源を楷書で書け。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書I

高木聖雨ほか12名 光村図書
77ページ 粘葉本古今和歌集

(4) 次の①、②についての説明を簡潔に記せ。

① 意臨

② 掲摹本

(5) 次の図版A～Cについて、作品名、筆者名（あるいは伝承筆者名）、時代を漢字で書け。

図版 A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅲ
石飛博光ほか18名
東京書籍
11ページ 菜子侯刻石

図版 B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅲ
石飛博光ほか18名
東京書籍
26ページ 伏波神祠詩卷

図版 C

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅰ
高木聖雨ほか12名 光村図書
83ページ 寸松庵色紙

「書道Ⅰ」において、次の二つの図版（A「顔氏家廟碑」、B「孫秋生造像記」）を用いて、「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示） 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第10書道Ⅰ 2内容 A表現 (2)漢字の書」及び「同 B鑑賞 (1)鑑賞」に基づき、「漢字の書」の単元を全八時間（二時間連続×四回）で行うこととする。なお、この単元のまとめとして、『情熱』という語を用いて、図版Aや図版Bの古典を生かした創作作品を制作することとする。あとの(1)～(3)の問いに答えよ。

図版 A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…書Ⅰ
高木聖雨ほか12名 光村図書
26ページ 顔氏家廟碑

図版 B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…中国法書選21
(発行者) 渡邊隆男 二玄社
7ページ 孫秋生造像記

- (1) 全八時間における学習内容、評価の観点及び評価規準の指導計画を簡潔に書け。なお、評価の観点については、次のとおり①、②、③で書け。

〈評価の観点〉

- (観点1) 知識・技能……………①
(観点2) 思考力・判断力・表現力等……………②
(観点3) 主体的に学習に取り組む態度……………③

- (2) 生徒が意図に基づき『情熱』という語を用いて創作する時の「生徒の意図」について、考えられるものを二つあげよ。

- (3) 生徒が古典を生かして『情熱』という語を用いて創作する時、意図に基づき構想し工夫しながら表現するなかで、どのような表現効果が得られるか、図版Aまたは図版Bのどちらかを選び、書け。

令和8年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

第二次選考択一問題の正答について

校種	高等学校	教科・科目	芸術（書道）
----	------	-------	--------

大問番号	1			2													
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
正答番号	4	1	5	3	5	4	1	2	1	1	3	2	4	3	5	5	4

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち1）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

受験番号

3

得点

4×3
12

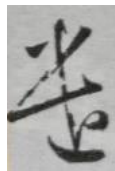
(1)

①



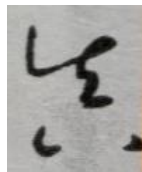
/

②



/

③



/

3×3
9

(2)

①

良

/

②

己

/

③

武

/

12
減点-1

(3)

お（於）ほそ（所）らに（尔）むれた（多）るたつの（能）
さしな（那）か（可）らおも（无）ふこころの（能）あり
け（介）なるか（可）な（奈）

/

5×2
10

(4)

①

臨書の方法の一つであり、臨書対象とする古典等
の手本の字形にとらわれず、筆の流れや筆者の意
図を重視し、古典から受ける印象を大切にして書
く方法のこと。

/

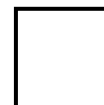
②

双鉤填墨という、書跡や絵画を複製する際に、薄
紙を重ねて輪郭を写し、その中に墨を塗り込むこ
とで複製を作る技法などを用いて模写したもの。

/

作品名・筆者名・時代
3×8 24

(5)			
図版 C	図版 B	図版 A	
寸松庵色紙 ／	伏波神祠詩巻 ／	萊子侯刻石 ／	作品名
伝紀貫之 ／	黄庭堅 ／	／	筆者名
平安 ／	宋 ／		時代



3

得点

受験番号

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち2）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

令和八年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

(1)				時間
8 ・ 7	6 ・ 5	4 ・ 3	2 ・ 1	学習内容
・ 前時の作品で意見交換。 ・ 『情熱』の清書と自己評価。	・ 「顔氏家廟碑」「孫秋生造像記」の書風の違いについて鑑賞、参考にする古典の選択。 ・ 古典を生かし、『情熱』の創作。	・ 「孫秋生造像記」の鑑賞。 ・ 「孫秋生造像記」の臨書。	・ 「顔氏家廟碑」の鑑賞。 ・ 「顔氏家廟碑」の臨書。	
③ ②	③ ② ①	① ①	① ①	評価の観点
・ 習得した知識を活用して、他者と意見交換し、ワークシートに記入している。 ・ 自身の表現の幅を広げようと、自らの意図に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ 古典の書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・ 古典の書風を捉え、自身の意図に基づいて、草稿を構想し、工夫している。 ・ 主体的に創造的な学習に取り組もうとしている。	・ 「孫秋生造像記」を構成する様々な要素について理解している。 ・ 「孫秋生造像記」の線質、字形、構成等を生かして表現する技能を身に付けている。	・ 「顔氏家廟碑」を構成する様々な要素について理解している。 ・ 「顔氏家廟碑」の線質、字形、構成等を生かして表現する技能を身に付けている。	評価規準

4

得点

受験番号

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち3）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

令和八年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

受験番号

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち4）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

4

（続き）

6

（2）

・内に熱く燃え上がるようなエネルギーを秘めた「情熱」を表現したい。

・周りに弾け出すようなパワーがあふれる「情熱」を表現したい。

〈図版Aを用いた場合〉

・「顔氏家廟碑」の太く堂々とした曲線的な線を生かすことにより、文字に力強い生命力を込めた『情熱』を表現できる。

・筆圧を強め安定感のある構えや筆使いと、線に抑揚をつけることに加えて、筆に多めの墨量を含めることで、一時的な『情熱』ではなく、深い信念に基づく『情熱』として仕上げることができる。

10

（3）

〈図版Bを用いた場合〉

・「孫秋生造像記」の方筆の特色や直線的な線を生かすことにより、激しいエネルギーを感じさせるような『情熱』を表現できる。

・方筆の特徴に加え、少し速めに筆を動かすことで表現できる渴筆などを加えることで、さらに迫力のある力強いイメージの『情熱』に仕上げることができる。